

海 I
2
3-2

ニ「  
関海  
ス南  
ル交  
件易  
」公  
社  
被  
接  
収  
関  
係  
資  
料

海-0014

0279

供覽

海軍

九

留

信

昭和二十一年五月二十日

海南海軍特務部

海軍司政官 河村篤信

信

外務省管理局經濟部

南方課長 殿

海南交易公社被接收關係資料二閣三件

首題二件別紙一通引証候也

(別紙添)

(終)

海

軍

第一 海南交易公社、設立ヨリ終戦ニ到ル迄ノ概況

海南交易公社ハ昭和十七年四月現地ニ省連絡會議ノ決議ニ基テ「海南島貿易機構確立要綱」ニ依リ海南島ニ於テル交易ノ一元化ヲ統制機關トシテ同年九月設立セラレタル團體ナリ。

海南交易公社ハ同要綱ニ基キ海南海軍特務部總監ノ指導監督ノ下ニ其ノ基本ノ業務ヲ担當スル外ニ海南海軍特務部ノ交易計畫ノ物資配給計畫及價格調整計畫ノ立案實施上ノ協力機關トシテ盡力セリ。其ノ後海南島開港ノ進捗ト相俟テ交易業務ニ新ニ配給業務ヲ追加シ更ニ海南島内生産物資中開發用又ハ島内自治上必需物資等ノ加テ重要物資ヲモ同社ノ一元化管理下ニ置キ之等物資ノ買取併有ハ勿論前記移入物資表

海軍

配給業務ヲモ担當セシムラレタリ。

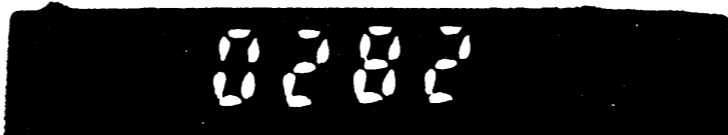
次ニ海南島價格政策ノ推進ニ當リテハ重要國防資源銅鐵ニ對シテ急遽ニ對内地供給ヲ請フ海南島ノ有ニ國家の使命ニ鑑ミ之ガ低廉ナル内地供給ヲ回達ニ併セテ海南島ノ民生安定ヲモ考慮シ早クヨリ低物價政策堅持ノ方針ヲラレタリ。之ガ爲對内地ニハ通貨ノ膨脹ヲ抑制スル一面島内物資ノ生産増強ニ意ヲ用ル等各種ニツテ諸施策ヲ講ズルト共ニ對外的ニハ中南支等各地域ノ高物價ノ島内波及ヲ極力抑止スルノ方針ヲ講ゼラレタリ。別紙海南島戰時物價政策基本要綱ニハ以上ノ方針ヲ具體化セシムルニシテ右ニ依リ低物價維持上生ズル價格差損金ニ付テハ大藏省ヨリ補償金ヲ度クテ、特別措置ヲ講ゼラレタリ。然レテ價格調整ノ具體的ナル實施機關トシテハ團體ノ性格

海軍

業務内容等ヨリ海南交易公社ニ担当セシムルヲ便ト思科セ  
 ラルルヲ以テ新ニ右ニ趣旨ニ基テ價格調整業務ヲモ行ハシムルヲ  
 以上ノ如ク海南交易公社ハ海南島開發計畫ノ進捗ト密視的情  
 勢ノ推移ニ即應シ其ノ業務内容ハ著シク拡大強化セラレ從  
 来ノ機構ノ下ニ於テハ其ノ業務遂行上種々不便ヲ生ジ從来ノ  
 根據法規ニテハ其ノ業務遂行上支障ヲ生ジ茲ニ昭和十九年  
 十月海南警備府法令ニ基テ新ニ別紙ノ如ク海南交易公社  
 令ヲ制定シ右法令ニ基テ同社規約ノ全面的改正ヲ行ヒ  
 交社業務ノ円滑ニ進行ラ企圖セリ  
 然レ昭和二十年ニテ是レノ急務ノ相親リ呈シ現機構  
 ノ下ニ於テハ同社令ノ便命ヲ全クシ得サル状況ニ立到リタム  
 ヲ以テ海南海軍特務部總監ノ指令ニ基テ同年五月一日ヲ期  
 シ公社機構ヲ全面的ニ改組強化シ其ノ業務遂行方式ヲ從

（昭和二十年）

海軍



本ノ交易公社員(交易業者)ニ依ル業務ノ代行セラザル概虎シ各  
交易公社員ハ先子ケテ交易公社ニ統合シ業務ノ一元的直管制ニ  
改編シ(別紙交易關係業者ノ統合經營ニ關スル臨時措置ノ件  
指令参照)爾後新株權ニ基テ業務ノ運行ヲ為シ采  
リ間モテテ終費ニ列リタリ。

(註) 價高為皆交易調整特別會計ヨリ、補償金ハ昭和  
十九年度ヨリ實施ニ移サル様ニ載有。海軍省、海南海軍  
特務部 三者間ニ協定成立シ十九年度ハ、取リ敢ヌセ。○  
万円ヲ限度ニ支出セラルトモ決定シ海南海軍、於テ立案セル  
十九年度價格調整計畫(大藏省外資向程出清)ニ基テ  
所要金額ノ不足分ハ總額一〇〇万円ノ範圍内ハ前記  
三者間ニ於テ自協議ノ上許容スルトモ決定セラレタリ。  
昭和十九年度領金額ハ約七〇〇万円ナリシモ不足分約三〇〇万円

日本 政府

ハ未受領ノ價格終算ニ列リ。尚昭和二十年年度分ハ價格調整  
計畫書種類提出準備中ニ終戦トナレリ。

第二 終戦前中國政府機關ニ依ル被接収ニ列シテノ概況  
 新機橋ニ基ク海南交易公社ハ本社（所在地海口市）ハ外ニ全島  
 ニ四支社（所在地、榆林、北黎、嘉積、那大市）ヲ設置シ（業務  
 部行政區劃ニ改セシム）各設置場所毎ニ保有物産ヲ管理  
 セシメタリ。尚學急事態ニ対応シ終戦前各管内ノ安全  
 地域ニ相當量物産ヲ分散保管セシメタルモ終戦後被  
 接収トアルマテ事情説明詳解ニ上陸開始所毎ニ尤々  
 接収セシメタリ。  
 接収後被接収ニ列シテ同ノ原則トシテ種々の業務ヲ打切  
 リ専ラ清算事務並ニ被接収ニ基ク業務整理事務  
 ヲ行ヘリ。  
 各地域ノ被接収状況左表ノ如ク

海 軍

所在地	被接収開始日	被接収終了日	被接収物産		高	品
			不動産	動産		
海口	8520.10.13	8520.10.31	783,857	12,5815	4,383,2850	-
榆林	8620.11.23	8620.12.14	81,041	-	9,695,9350	-
北黎	不明	不明	220,000	4,570	6,066,831	-
嘉積	8620.11.6	8620.11.6	-	-	15,649,437	-
那大	不明	不明	-	-	13,062,910	-
計					17,827,1378	-

〔註〕 動産、不動産ハ振替價格ニ依ル高価ニ記録ナシ。又海口市時價ヲ基準ニ算出ス

第三 海南交易公社 被接後ノ精算事務

海南交易公社ハ資本團體ニ非サルヲ以テ業務經營上種々不便ヲ感シタルヲ以テ資本團體ヲ組織スル可ク對シテ處アリ  
 クルモ實現ヲ見ズニテ終數ニ列セリ。從テ資本團體ヲシテ過渡的應急の措置トシテ昭和十九年九月公社機構ノ一部改革トシ、機ニ持務部總監ノ幹地ノ下ニ正金銀行一五〇。万円、台湾銀行二八五。万円限度ニテ兩銀行ト  
 之々當座借越契約ヲ設定シ爾今右ニ依リ公社業務ヲ運行シ来リ。

終戦後十月三日現在ノ借越残高ハ別紙貸借対出表ノ通

正金銀行	一三、三三九、七一三
台湾銀行	二四、三一、一六〇、八〇
計	三七、六五一、四二一、四

海軍

ナリ。之ニテ之カ對銀行債務亦消ハ唯一ノ担保タル交社手持高品約一七五〇。万円ヲ接收セラレ今日本國家補償ニ依ラサル限リ精算ノ方途ハツカサルモノト思料ス

(大石印刷所)

英政全案十三行書紙(鈔本納)

才四引継書類目錄(提出済)

- 一、貸借対照表(昭和十年七月三十一日現在)
- 二、被接收財産調印目錄(本社並ニ各支社分)
- 三、被接收経過報告書(本社並ニ各支社分)
- 四、被接收財産目錄附原簿(本社並ニ各支社分)
- 五、資産負債表(昭和十年十月三十一日現在)

日本政府

海-0014

0286



海南特務機密第一九號ノ一〇六

昭和十九年六月八日

七月一日

海南海軍特務部經濟局長

海軍海軍特務部連絡部長  
各支部長  
同 各派遣所長  
同 殿

海南島戰時物價政策基本要綱實施ニ關スル件通知

首題ノ件別紙ノ通制定實施スロトト相成候條御了知相成度

(別紙添)

寫送付先

海軍海軍特務部參謀長  
海軍海軍特務部第一課長  
海軍海軍特務部第二課長  
海軍海軍特務部第三課長  
海軍海軍特務部第四課長  
海軍海軍特務部第五課長  
海軍海軍特務部第六課長  
海軍海軍特務部第七課長  
海軍海軍特務部第八課長  
海軍海軍特務部第九課長  
海軍海軍特務部第十課長  
海軍海軍特務部第十一課長  
海軍海軍特務部第十二課長  
海軍海軍特務部第十三課長  
海軍海軍特務部第十四課長  
海軍海軍特務部第十五課長  
海軍海軍特務部第十六課長  
海軍海軍特務部第十七課長  
海軍海軍特務部第十八課長  
海軍海軍特務部第十九課長  
海軍海軍特務部第二十課長  
海軍海軍特務部第二十一課長  
海軍海軍特務部第二十二課長  
海軍海軍特務部第二十三課長  
海軍海軍特務部第二十四課長  
海軍海軍特務部第二十五課長  
海軍海軍特務部第二十六課長  
海軍海軍特務部第二十七課長  
海軍海軍特務部第二十八課長  
海軍海軍特務部第二十九課長  
海軍海軍特務部第三十課長  
海軍海軍特務部第三十一課長  
海軍海軍特務部第三十二課長  
海軍海軍特務部第三十三課長  
海軍海軍特務部第三十四課長  
海軍海軍特務部第三十五課長  
海軍海軍特務部第三十六課長  
海軍海軍特務部第三十七課長  
海軍海軍特務部第三十八課長  
海軍海軍特務部第三十九課長  
海軍海軍特務部第四十課長  
海軍海軍特務部第四十一課長  
海軍海軍特務部第四十二課長  
海軍海軍特務部第四十三課長  
海軍海軍特務部第四十四課長  
海軍海軍特務部第四十五課長  
海軍海軍特務部第四十六課長  
海軍海軍特務部第四十七課長  
海軍海軍特務部第四十八課長  
海軍海軍特務部第四十九課長  
海軍海軍特務部第五十課長  
海軍海軍特務部第五十一課長  
海軍海軍特務部第五十二課長  
海軍海軍特務部第五十三課長  
海軍海軍特務部第五十四課長  
海軍海軍特務部第五十五課長  
海軍海軍特務部第五十六課長  
海軍海軍特務部第五十七課長  
海軍海軍特務部第五十八課長  
海軍海軍特務部第五十九課長  
海軍海軍特務部第六十課長  
海軍海軍特務部第六十一課長  
海軍海軍特務部第六十二課長  
海軍海軍特務部第六十三課長  
海軍海軍特務部第六十四課長  
海軍海軍特務部第六十五課長  
海軍海軍特務部第六十六課長  
海軍海軍特務部第六十七課長  
海軍海軍特務部第六十八課長  
海軍海軍特務部第六十九課長  
海軍海軍特務部第七十課長  
海軍海軍特務部第七十一課長  
海軍海軍特務部第七十二課長  
海軍海軍特務部第七十三課長  
海軍海軍特務部第七十四課長  
海軍海軍特務部第七十五課長  
海軍海軍特務部第七十六課長  
海軍海軍特務部第七十七課長  
海軍海軍特務部第七十八課長  
海軍海軍特務部第七十九課長  
海軍海軍特務部第八十課長  
海軍海軍特務部第八十一課長  
海軍海軍特務部第八十二課長  
海軍海軍特務部第八十三課長  
海軍海軍特務部第八十四課長  
海軍海軍特務部第八十五課長  
海軍海軍特務部第八十六課長  
海軍海軍特務部第八十七課長  
海軍海軍特務部第八十八課長  
海軍海軍特務部第八十九課長  
海軍海軍特務部第九十課長  
海軍海軍特務部第九十一課長  
海軍海軍特務部第九十二課長  
海軍海軍特務部第九十三課長  
海軍海軍特務部第九十四課長  
海軍海軍特務部第九十五課長  
海軍海軍特務部第九十六課長  
海軍海軍特務部第九十七課長  
海軍海軍特務部第九十八課長  
海軍海軍特務部第九十九課長  
海軍海軍特務部第一百課長

(終)

別紙

海南島戰時物價政策基本要綱案

方針

海南島開發計畫ノ促進ニ伴ヒ軍需放出額ノ増大ハ不可避ノ趨勢ナル處之ガ放出ニ付テハ重要的且必要最少限度ニ止ムルト共ニ資金ノ調達、爲替管理ノ強化、貯蓄ノ増強華人側金融機構ノ整備ノ方法ニ依リ通貨ノ膨脹ヲ極力抑止スベキハ勿論ナルモ開發上並ニ戰時生活上不可缺ナル重要物資ノ輸入ハ極力之ガ確保ニ努ムルト共ニ併セテ島内資源ノ活用ニ依ル生産力ノ補充ヲ期シ以テ本島物價ヲシテ漸趨ノ程度ニ導ク爲左記要領ニ依ル戰時物價政策ヲ遂行セントス

要領

一 開發資材ノ需要者價格

一 開發計畫促進上不可缺ナル重要資材（以下開發資材ト稱ス）ノ需要者價格ハ概ネ現行水準ヲ維持スルモノトス

二 開發資材ノ需要者價格ハ原則トシテ邊地減價格トシ要スレバ之ニ島内運送費ヲ加ヘ均一價格ヲ設定スルモノトス

二 一般物資ノ需要者價格

一 開發資材ヲ除ク一般物資ハ必需品、不急品及高級品ノ三種ニ分チ必需品ノ需要者價格ハ概ネ現行水準ヲ維持スルモノトス不急品及高級品ノ需要者價格ハ近接經濟圈ノ物價水準ニ繼ミ漸進的適正價格ヲ設定スルモノトス

二 一般物資ノ需要者價格ハ原則トシテ島内均一價格トス

三 本島生産物資ノ價格

本島生産物資ニシテ増産進行上生ズベキ適正ナル生産費ノ昂貴ニ對シテハ之ヲ保障スルモノトシ要スレバ生産者價格ト需要者價格トノ間ニ二重價格制ヲ採用スルモノトス

一 邦人生産物資ノ生産者價格ハ適正生産費ニ適正利潤ヲ附加シタルモノトス

二 邦人收買物資（管理物資）ノ海南交易公社（以下交易公社ト稱ス）買取價格ハ主産地又ハ主要産地ニ於ケル適正市場價格ヲ基準トシ軍需ニ適當ノ裏付物資ヲ加算セルモノヲ以テ之ヲ決定スルモノトス要スレバ地域別又ハ季節別適正市場價格ヲ基準トシ決定スルゴトアルベシ

三 管理外物資ノ收買價格ニ付キテモ概ネ管理物資ニ準ジ之ト價格ノ均衡ヲ保持スル如ク決定スルモノトス

四 移出價格ハ交易公社買取價格ニ代行料、諸費等ヲ加算ノ上更に仕向地ニ於ケル市場價格ヲ勘案シ調整セル價格ニ依ルモノトス

附則

一 海南島物價調整資金特別會計設置

交易計課ニ添ク交易物資（開發資材ヲ含ム）本島生産物資及特殊交易物資ノ價格ヲ調整スル爲海南島物價調整資金特別會計ヲ交易公社内ニ設置スルモノトス本會計ニ於テハ移入物資又ハ本

島生産物ノ配給又ハ移出利益金及其ノ他ノ收入ヲ以テ其ノ歳入トシ移入物資又ハ本島生産物  
資ノ配給又ハ移出利益金及其ノ他ノ諸費ヲ以テ其ノ歳出トス  
第一項償還利益金ニ依ル財源ヲ以テ同項償還利益金ヲ補填スルコト能ハザルトキハ爲替交易  
暨特別會計ヨリ之ガ補償ヲ受クルモノトス

二 物資ノ計量配給及配給標準ノ簡素化

ノ邦人用生活必需品ノ配給ハ切符制又ハ之ト同等ノ効果アル配給制ヲ更ニ強化スルモノトス  
ノ邦人用不織品及高級品ノ配給ハ各地區別、邦人等、業種別又ハ地域別特殊ヲ考慮シ計量的  
配給ヲ行フモノトス

三 農付物資ノ配給ハ收購計量及收購実績ヲ勘案シ其ノ適正化ヲ圖ルモノトス

四 官需用物資ノ配給ハ治安工作用、軍用施設被用人夫用等官需用物資ノ配給ハ其ノ場合之ヲ行フ  
モノトス

五 元賣業者及卸賣業者ハ交易公社ノ代行機構トシ原料トシテ元賣業者ヲシテ卸賣業ヲ営ム  
ルモノトス

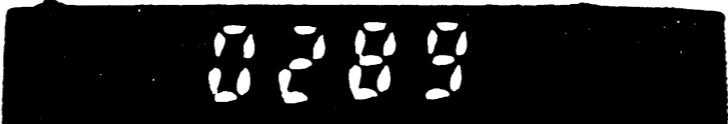
三 華人僑ニ對スル物資配給

一 北部四縣ニ於テ移民農畜合作社ノ設置セル管理物資ノ交易公社買取機構ハ財務部ノ指定セル  
價格ニ依ルモノトス

二 交易公社ヨリ華人僑ニ引渡スベキ物資ノ配給價格ハ仕入地ニ依ル價格ヲ調整シタル交易公

社配給價格(卸賣價格)ニ依ルモノトス

(終)



海南備府法令第三一號

昭和十九年十一月二十五日

海南備府司令長官 松 木 益 吉

海南交易公社令別紙ノ通定ム

附 則

本令ハ昭和十九年十一月二日ヨリ之ヲ施行ス

( 終 )

海軍省 交易公社令

第一條 海軍交易公社（以下交易公社ト稱ス）ハ海軍島ニ於ケル物資ノ交易及給付ノ綜合的統制並ニ  
ヲ促スト共ニ島内重要生産物資ノ買取及保有ヲ促スコトヲ目的トス

前項ニ規定セル物資ノ範圍ハ別途之ヲ定ム

第二條 交易公社ハ法令ニ基キ規約ヲ定メ目的業務其ノ他必要ナル事項ヲ規定スヘシ

第三條 交易公社ハ海軍島ニ於ケル物資ノ交易、供給、生産、收買、運輸、保管又ハ金融業務ニ從  
事スル者ノヨリ理事長及監事ト認メ且海軍海軍特務部總監（以下特務部總監ト稱ス）ノ認許ヲ受ケタル

者（以下公社員ト稱ス）ヲ以テ組織ス

第四條 交易公社ハ其ノ目的ヲ達成スル爲メ左ノ業務ヲ行フ

一 物資ノ移出及移入並ニ之ニ伴フ重要物資ノ買取及賣渡

二 島内重要生産物資ノ保有、買取及賣渡

三 前二項ノ業務ニ依リ買取又ハ保有セル物資ノ配給

四 移出ノ物資及島内重要生産物資ノ保管業務

五 評議員ノ保證

六 前各條ノ業務ニ附帶スル業務

第五條 交易公社ハ前條ニ掲グル業務ノ一部ヲ公社員ニ代行セシムルコトヲ得

第六條 交易公社ニ理事長一人、理事、監事及評議員各若干人ヲ置ク

理事長ハ交易公社ヲ代表シ其ノ業務ヲ總理ス

理事ハ理事長ヲ補佐シ交易公社ノ業務ヲ總理シ理事長暴故アルトキハ、該メ理事長ノ定ムル順位ニ  
依リ其ノ職務ヲ代理シ理事長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

監事ハ交易公社ノ業務ヲ監査ス

評議員ハ理事長ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ理事長ニ對シ意見ヲ具申ス

第七條 理事長ハ特務部總監之ヲ任免ス

理事ハ評議員ハ公社員中ヨリ特務部總監ノ認許ヲ受ケテ理事長之ヲ任免ス

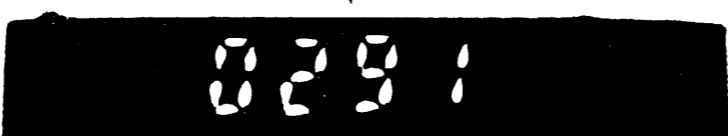
第八條 理事長及理事ノ任期ハ三年トシ監事及評議員ノ任期ハ二年トス

第九條 理事長及理事ハ他ノ職業ニ従事スルコトヲ得ズ但シ特務部總監ノ認許ヲ受ケタルトキハ此  
ノ限ニ在ラズ

第十條 交易公社ニ諮問若干名ヲ置クコトヲ得

第十一條 交易公社ニ評議員ヲ以テ組織セル評議員會ヲ置ク

第十二條 交易公社ノ業務進行上重要ナル事項ハ評議員會ニ諮リ理事長之ヲ決定ス



第十三條 交易公社ニ公社員ヲ以テ組織セル總會ヲ設ク  
理事長ハ少クトモ毎年一回通商總會ヲ召集シ交易公社ノ業務進行上重要ナル事項ニ關シ報告ヲ爲  
スモノトス  
第十四條 規約ノ變更、該規定ノ制定又ハ變更手續量率ノ決定又ハ變更借入金ノ設定、豫算ノ編成  
其ノ他交易公社ノ業務進行上重要ナル事項ハ特務部總監ノ認許ヲ受クルモノトス  
第十五條 交易公社ハ特務部總監之ヲ監督ス

(終)

海特指第一九號

昭和二十年四月二十四日

海南海軍特務部總監

- 海南交易公社理事長 山口倭太郎 殿
- 三井物産株式會社代表者 藤田清七 殿
- 山岩井産業株式會社代表者 田村 耕 殿
- 大建産業株式會社代表者 丹羽省吾 殿
- 中興産業株式會社代表者 茂野隆司 殿
- 株式會社南興公司 代表者 河原英二 殿
- 株式會社明治屋 代表者 青木辰夫 殿
- 有限會社加藤商會 代表者 小島良之 殿
- 有限會社日本海南會社 代表者 古谷喜七 殿
- 有限會社八興公司 代表者 荻原清一 殿
- 湯淺實業株式會社 代表者 上村 一 殿
- 與南産業株式會社 代表者 水原正雄 殿
- 海南取引業株式會社 代表者 新英長 殿
- 外内興業株式會社 代表者 田井虎三郎 殿
- 株式會社大丸 代表者 田井虎三郎 殿

支店關係業者統合經營關之臨時措置件指令

現下緊急ノ情勢ニ對處シ本島決戰態勢ヲ確立スル爲昭和二十年

五月一日ヲ期シ海南交易公社ノ機構ヲ改組強化シ全支店業者ヲ之ニ統合シ爾後業務ノ一元的運營ヲ實施スベシ

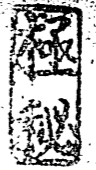
但シ別紙海南島交易故ニ配給機構整備臨時措置要綱ヲ遵守スベシ

ニ統合完了シ、其ノ直ニ本職ニ報告スベシ

(別紙 兼)

- 寫送付先 海軍省軍務局長
- 海南警備府參謀長
- 各 隊 司令
- 海南海軍軍需部長
- 海南海軍經理部長

(終)



海南島交易並配給機構整備時指置要綱



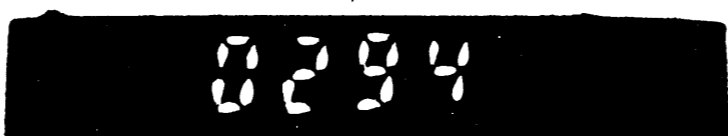
第一趣旨

海上輸送力逼迫下大陸各地異常ナル物價高ニ加フルニ爲替  
決済ノ不如意等ニ因リ本島交易業務ハ近時急激ニ萎縮  
減退シ而シテ當分回復ノ見込エテ難キ状況ニ在リ斯レ實情  
ニ於テ仍ホ從來通り午放社ノ交易業者ガ互ニ並立シテ  
業務工人的物的ニ重複スルハ極メテ妥當ヲ缺クコト論ヲ  
俟タザル所ニシテ速ニ之ヲ簡素化スルノ要アルモノト認メラルル  
ノミナラズ今後ニ於ケル本島經濟ノ運営ハ交易業務ニ對  
スル積極的且強カキ推進ノ物資ノ活用及島内物資ノ  
生産收購並ニ配給ニ新メタル構想ヲ必要トス加之最近  
陸軍ノ現地召集ニ依ル要員ノ跛行ノ状態ヲ合理的ニ

改編シテ能率ノ向上ヲ図ルノ要アリ  
此處ニ於テ關係業者ノ人的物的總力ヲ一元的ニ結集  
シ積極的且強カキ迅速ニ業務ヲ處理セシムル爲本島  
交易並ニ配給機構ヲ整備統合シ以テ戦局ノ進展ニ即  
應對處シ本島對面交易並ニ對面配給ノ円滑ナル実施  
ニ萬遺憾ナク期セハトス

第二要領

一 海南島交易公社ノ機構ヲ改革シ現交易公社員ハ原則  
トシテ右前機構ノ交易公社ニ統合ス但シ萬和及建泰  
公司ハ其ノ有スル特殊事情ニ鑑ミ特殊交易ノ範圍内ニ  
於テ残存ス  
ニ 統合ハ警備府司令長官ノ命令ニ基ク特務部總監





指令ニ依リ之ヲ行ハシム

三 新機構ノ公社ハ物資ノ移出入業務ヨリ第三次配給並ニ保管業務迄一貫的ニ直營シ現公社員ノ代行制ハ之ヲ廢止ス

現公社員ハ統合ノ前日限り業務ヲ行切リ之ヲ新機構ノ公社ニ引継グト共ニ從業員及施設ハ新機構ノ

公社ニ採用並ニ使用セシムルモノトス

四 戰局其ノ他情勢ノ推移ニ依リ將來統合前ノ狀態ニ復歸スルヲ適當ト認ムル時期ノ到來シタルトスハ特務部總監ノ命ニ依リ原狀ニ復歸セシムルコトアルモノトス

五 新機構ノ公社ノ組織ハ極力簡素化シ余剩人員ハ他ノ緊急方面ニ転用ス

前項ニ依リ余剩人員ノ再配置ニ伴フ之ガ転換先給與又ハ身分関係等ニ付テハ別途適切ナル措置ヲ講ズ

六 新機構ノ公社ノ業務運行上重要ナル事項ハ理事長及理事ヲ以テ組織スル理事會ニ諮リ理事長之ヲ決定ス

七 新機構ノ公社ノ銀行指入金ニ付テハ特務部總監ニ於テ其ノ赤済ヲ確保スルノ措置ヲ講ズルモノトス

八 交易機構ノ整備ニ伴ヒ第三次配給機關(小賣機關)ノ整備ヲ為ス

前項ニ依ル整備ハ原則トシテ支部管區一機關ノ方針トシテ支部管區ニ數業者ヲ置場合ハ組合又會社組織ニ依リ統合ス

前項ニ依ル整備ハ原則トシテ支部管區一機關ノ方針トシテ支部管區ニ數業者ヲ置場合ハ組合又會社組織ニ依リ統合ス

前項ニ依ル整備ハ原則トシテ支部管區一機關ノ方針トシテ支部管區ニ數業者ヲ置場合ハ組合又會社組織ニ依リ統合ス

前項ニ依ル整備ハ原則トシテ支部管區一機關ノ方針トシテ支部管區ニ數業者ヲ置場合ハ組合又會社組織ニ依リ統合ス

第三措置

一 交易公社及交易公社員中ヨリ交易機構整備委員若干名ヲ委嘱シ右委員ヲシテ新機構ノ組織業務處理方針新機構ヘノ移行ニ伴フ暫定措置ヲ講ゼシム  
二 新機構ヘノ移行ニ當リ交易公社員ノ有スル業務施設及役職員ハ尤モ要領ニ依リ處理ス  
三 業務ノ移管

交易公社員ハ本要領實施期日ノ前日限ニテ代行業務ヲ整理完了シ在庫物資ハ同日附ニテ在庫物資明細表ヲ作成シ公社ニ引継グ  
交易公社員ハ本要領實施期日ヨリ交易公社ノ名儀ト經理ニ於テ交易公社ノ業務ヲ處理ス  
四 施設ノ移管

交易公社員ノ有スル施設ハ移管前日ノ財産目錄ヲ複製シ之ニ依リ交易公社ニ使用セシム  
使用料ハ別途別定ム

五 要員ノ切換  
交易公社員所屬ノ従業員ハ原則トシテ本要領實施ノ日ヨリ公社職員ニ切換ヘ其ノ給與ハ別ニ之ヲ定ム但シ其ノ給與ニシテ從來ノ支給額ニ達セザルモノニ對シテハ可成元高社ヨリ支給セシムル様措置ス

六 本要領實施期日以降ニケ月間内ニ事務整理ヲ完了セシム

七 新機構移行ニ當リテハ極力混乱ヲ生ゼザル如ク措置ス  
八 本要領ノ實施上疑義ヲ生ジタルトキハ凡ヘテ特務部總

造令決スル所ヨリ  
本要綱ハ昭和二十年五月一日ヨリ之ヲ實施ス

貸借対照表 海防支社

昭和廿一年五月十日

借方		貸方	
金額	科目	金額	科目
6,543,399	銀行当座	24,311,682	現金
6,360	銀行定期預金		
✓36,235,873	商 品	✓13,339,713	貯蓄
14,442,532	未仕入品	691,629	未仕入品
13,200	未仕入品	1,630,386	未仕入品
1,321,358	未仕入品	12,633,691	未仕入品
1,266,973	未仕入品	17,400	未仕入品
63,241	未仕入品	44,657	未仕入品
1,130,651	未仕入品	221,328	未仕入品
525,230	未仕入品	32,000	未仕入品
32,000	未仕入品		
316,000	未仕入品		
2,500,000	未仕入品		
2,590,604	未仕入品		
852,341	未仕入品		
	未仕入品		
	未仕入品		
	未仕入品		
	未仕入品		
	未仕入品		
67,511,678	現金	149,384,557	現金
		62,511,678	現金